

## 高齢者叙勲「旭日単光章」を受章 八木健太郎さん〔寺尾〕元六日町議会議員

八木さんは、昭和60年5月から3期12年の長きにわたり、六日町議会議員として務められ、その間に、総務文教委員会副委員長、産業経済委員会委員、議会運営委員会委員長、監査委員などの要職を歴任されるなど、地方自治の推進に尽力されました。

八木さんは、「まさか自分が受章するとは思ってなかったので驚きました。みなさんのおかげで受章できました。ありがとうございます」と語りました。

※高齢者叙勲は、国家や公共のために功労があった88歳になられた人に授与されるものです



12月22日(火)

## おおまき小学校と埼玉県深谷市の市立豊里小学校との交流事業がオンラインで行われました

おおまき小学校と豊里小学校は平成30年から「自然の恵み交換会」として、両市の特産品を交換し合うなど、見聞を広めることを目的に交流を深めてきました。令和2年は、児童たちが自ら育てた特産品を宅配便で贈りあい、オンラインミーティングシステムのZoomを活用して両校をオンラインで結び、おおまき小学校5年生21人、豊里小学校5年生31人が交流しました。

両校の児童はそれぞれの特産品を紹介し、豊里小学校からは深谷ネギについて、おおまき小学校からは南魚沼産コシヒカリについて、それぞれ調べたことをクイズなどを交えながら発表しました。おおまき小学校の児童は、終わりの言葉で「豊里小学校のことを知ることができ、友達が増えたようでうれしいです。贈られた深谷ネギを食べるのも楽しみです。これからも交流を大切にしていきたいと思います」と語りました。



友達ができたようでうれしいです。贈られた深谷ネギを食べるのも楽しみです。これからも交流を大切にしていきたいと思います」と語りました。

12月24日(木)

## 市役所本庁舎2階に医療対策推進本部を設置し、第1回医療対策推進本部会議を開催しました

医療対策推進本部は、令和2年9月29日に第6回をもって終了した「南魚沼市医療のまちづくり検討委員会」から今後の医療のまちづくりに関する提言をいただき、全庁をあげてこの課題に取り組むために設置したものです。林市長が本部長、外山副市長が副本部長を務め、広範多岐にわたる「医療のまちづくり」事業を有機的にとりまとめ推進していくこととなります。医療対策推進本部員は、本部長、副本部長のほか、総務部長、福祉保健部長、病院事業管理者など10人で構成されています。今後、全庁で情報の共有を図るとともに、実務的な部分については多職種によるタスクフォース（特別チーム）が、実効性のある検討を進めていきます。

第1回医療対策推進本部会議では、市民病院の経営改善や大和病院の改修、医師確保などの課題について、実務を行うための6つのタスクフォースの設置や編成、今後のスケジュールなどについて話し合いが行われました。

林市長は本部長あいさつで、「市の最大の課題と位置づけ、医療対策推進本部を設置しました。持続可能な医療体制の構築、市民参画型の生涯を通じた健康づくり、保健・医療・介護・福祉が連携したまちづくりの推進などの目標を掲げ、全庁でこの問題に立ち向かい、本部長として肝いりで進めてまいります」と語りました。

副本部長の外山副市長は、「医師不足と公立病院の経営の悪化の問題は、南魚沼市だけの問題ではなく、全国的な構造的な問題です。南魚沼市は、医師確保を中心に難しい地域となっています。今日の医療対策推進本部とタスクフォースを足場にして、みんなの意識を一つにがんばらなければいけないと思っています。広範な仕組みの中で、関連する国や県などの機関も巻き込みながら進めていく必要があると思っています」と語りました。

